

発疹・湿疹



お子さんの次の症状を観察し、医療機関受診の参考にしてください。

- 今までひどいアレルギー症状が出たことがある
- 急に口の中や舌が腫れてきた
- 呼吸が苦しい、声がかすれる、咳が出る

1つ以上
あてはまる

救急車を
呼ぶ

あてはまる
症状はない

- 目の周りや顔が腫れてきた
- 透き通った定規やコップで押さえても、赤みが消えない
- 発疹がどんどん広がる
- かゆみが強い

1つ以上
あてはまる

かかりつけの小児科
休日・夜間は休日夜間診療所
又は救急医療機関を受診しましょう

あてはまる
症状はない

しばらく家で様子を見てみましょう
ただし、症状が悪化した場合、変わらず続く場合は医療機関を受診しましょう

発疹が出たときは

● 発疹・湿疹とは

何らかの原因で肌に起こる変化を発疹と言い、その中でも皮膚に炎症を起こしていて、かゆみや赤みを伴うようなものは湿疹と言い、アトピー性皮膚炎の赤ちゃんの肌に見られるようなものを言います。

● どんな発疹か観察を

どのような発疹ですか？かゆがりますか？発疹が広がりますか？発疹の場所を痛がりますか？

発疹の形は小さな赤みなのか、いろんな形をした大きなものか、少し盛り上がっているか、透き通ったもので押さえて赤みが消えるか、などを観察しましょう。

● こんなときは診察を受けましょう

急に出ることが多いのはじんましんです。じんましんは、出る場所によって大きさや形の違う、淡紅色で少し盛り上がった発疹です。

じんましんでも、強いかゆみがなかったり、発疹が数個だけならばその部分を冷やしてみるか、普段使っている虫刺されの薬を塗って様子を見てもよいでしょう。フローチャートに当てはまる項目があるときは、診察を受けましょう。

